

2021. 2.20 sat - 3.21 sun

10:00~18:00 (入館は17:30まで)

休館日 月曜日 観覧無料

主催:公益財団法人 美作学術文化振興財団

勝央美術文学館 ⚠️ SHOO MUSEUM OF THE ARTS

# 築山弘毅展【NDEX

このたび、I 氏賞作家 築山弘毅 氏による作品展を開催いたします。築山氏は、岡山県津山市出身。東京藝術大学を卒業、同大学院を修了後、ドイツ、シュトゥットガルト美術アカデミーにて現代絵画を学びます。渡独直前に体験した東日本大震災をきっかけに、為替や株式相場と人々の感情の連動性に着目した作品の制作を始動。以降、混沌とした世界の姿、その時々の群衆心理より「為替」レートや「株式相場」の指標を表すグラフが、生き物のように激しく上下し"のたうつ"様を、漆芸の蒔絵技法から着想を得た方法で鮮やかに表現しています。その躍動感あふれる作品は、岡山ゆかりの画僧 雪舟等楊が描く山水画の趣をも感じさせてくれます。また、本展は、副題を【INDEX】とし、ゲスト作家に、岡山県美作市出身で写真家の小林正秀(I 氏賞奨励賞受賞)と岡山県倉敷市出身の洋画家 吉尾梨加(I 氏賞出品作家)をお迎えしました。小林氏は、写真を撮ることで人の営みある風景を視覚化し、そこに潜む感覚を呼び起こす装置として作品を位置づけています。吉尾氏もまた同じように、廃家電やガードレールたちを、使われていた時の記憶を内包し、それを思い起こさせてくれる対象として描いています。【INDEX】には、「見出し・索引」と経済用語の「指標」という二つの意味があります。ある時期、或いは瞬間の場面や事象を切り取って、それを絵画や写真などの形にとどめておくことで、それらの作品が過去に起きた出来事を、人々へ想起させたり、今後同じことが起こりうる可能性を示す「指標」や「索引」になるかもしれません。三人の作家が、それぞれ異なる素材や表現方法で現代を【INDEX】していく過程を、この展覧会を通してみなさんにご覧いただけたら幸いです。



## 築山弘毅 TSUKIYAMA Hiroki

1983年、岡山県津山市に生まれる。東京藝術大学に入学し日本画を学ぶ。同大学院を修了後、自身のさらなる芸術活動の発展のため、ドイツへ渡る。シュトゥットガルト美術アカデミーに留学し、ホルガー・ブンク教授の下でドイツの現代絵画を学ぶ。渡独直前に体験した東日本大震災および福島原発事故をきっかけに、

為替や株式相場と人々の感情の連動性を発見し、これをテーマに制作を始める。ドルや日本円などに表される為替相場のグラフはチャートと呼ばれる、あらゆる出来事をきっかけに谷のような形を形成する。ドイツでの芸術活動を通して、相場と絵画を融合することができないか、試行錯誤を繰り返し、相場を切り取って、絵画に閉じ込めることで、世の中の出来事や人々のその





How I Learned to Stop Worrying and Love the Bomb

時の感情を風化させず、何百年後もこれらの出来事を想起させられる装置を作りだすことができると考えている。シュトゥットガルト美術アカデミーを修了後、2019年に故郷である岡山に活動の地を移し、相場の絵画を現代の歴史画として描き続けている。2019年I氏賞大賞受賞。

## **GUEST ARTISTS**



小林正秀 KOBAYASHI Masahide

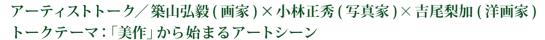
1980 年、岡山県美作市生まれ。美學校・岡山校 銀塩写真 講座にて写真表現を学び、同校修了後は写真家/東京造形 大学教授・中里和人氏が主催する写真グループ NODE に参 加。身近な日常性への眼差しを基本に、日本のローカルな 風景の記録を続けている。現在は写真家 4 名で運営するリ トルプレス・GRAF Publishers のメンバーとして活動中。 東京を中心に作品発表を行い、自身や若手作家の写真集刊 行などにも取り組んでいる。主な著書には写真集『美作』 (2018 年) などがある。2016 年 I 氏賞奨励賞受賞。





吉尾梨加 YOSHIO Rika

1989 年、岡山県倉敷市生まれ。2015年倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科修了。大学2年生の時に出会った情景に啓発され、"残されたもの"をテーマに絵画制作を続けている。作品タイトルは、ある主観的な「時間」を表す≪あのとき≫という言葉で冠している。また"絵画"とは何なのか、自身の制作を通し探求を続ける。岡山県を中心に、個展やグループ展等を開催し活動中。2013年、シェル美術賞展入選、2018年、第69回岡山県美術展覧会山陽新聞社賞。現在無所属で、高梁市成羽美術館学芸員。



日程: 2021年3月7日(日)14:00~15:00 受付開始: 2021年2月2日(火)午前10時より 事前申込優先(定員30名)予約先: 勝央美術文学館 Tel. 0868-38-0270 E-Mail shoomuse@icloud.com 電話でのお申し込みは火〜金曜日10:00~18:00、メールの場合は、①参加者名②住所③電話番号をご明記下さい。



### **ACCESS**

■鉄道:JR 岡山駅(津山線)→津山駅(姫新線) →勝間田駅下車徒歩 15 分

■バス:中国ハイウェイバス JR 津山駅より 15 分 新大阪駅より 2 時間 15 分 《中国勝間田》下車徒歩 5 分

■自動車:中国自動車道

津山 IC より約 15 分/美作 IC より約 10 分

勝央 IC より約5分

■飛行機:岡山空港から車で約1時間10分

#### お知らせとお願い】

新型コロナウィルス感染拡大の影響で、会期や内容が変更になる可能性があります。ホームページまたは Facebook、Twitter で最新情報をご確認ください。 発熱や咳などの症状のある方は入館をご遠慮ください。新型コロナウイルス感染 拡大防止のため、マスクの着用等にご協力ください。

公式 WEB





〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田207-4 Tel. 0868-38-0270 Fax. 0868-38-0260